

朝のスケッチ

今の季節、朝の散歩コースは通学路。私は行き通う人には必ず挨拶をするのだが大概の人は返事をしてくれる。返事をしない輩はというと人相の悪い大人かしつけのなっていない子供。若い男性が私よりも先に挨拶してくれると1日得したようないい気分になる。意外なのは男子中学生。はにかみながらも「オッス」とか頭をペコンと下げしてくれる。その中でいつも気になる中学生がいる。私が声をかけると両耳をふさぎ横を向きブツブツ言って通り過ぎる子だ。私もむきになりめげずに声をかけていたら、耳をふさぎ横を向いて「おはよう」と言うようになり、自分から片手をあげ挨拶するようになり、最近「行ってらっしゃい」と言う



ハク通信
2009.4.1 発行
第54号
発行人
芳賀美代子

鶴ヶ城本丸
石垣の上にて

と「行ってきます」と返事するようになった。暫くして知ったが彼は自閉症児だった。ハクにも気になるおばさんがいる。いつもポケットに犬のおやつを入れ、息子を送りがてら近所の飼い犬に与えている人だ。遠くからでも女性の姿(臭い)をキャッチすると全力疾走で近づく。はじめは悪習慣になるかと懸念したがハクの楽しみでもあるし、遭遇時間に合わせて散歩に出るようにしている。

名作の舞台を訪ねて

樹齢 600 年
天然記念物
の櫻が目印



今年の NHK 大河ドラマ「**天地人**」の舞台は新潟県・福島県・山形県だ。3 県とも俳優や原作者、歴史家などを呼んで講演会や座談会数々のイベントを企画、どこへ行っても「天地人」ののぼり旗がたなびき観光客誘致に躍起。上杉景勝は豊臣秀吉に取り立てられ越後 91 万石から東北の要となる会津 120 万石に国替えとなる。当時の城(若松城=鶴ヶ城)は山寄りて手狭だったので着任早々会津平野中央の神指に城を建設。秀吉死後、5 大老の一人だった上杉の転覆を狙っていた徳川家康は“謀反の兆しあり、上洛して弁明せよ”と再三文をだすが、家老の直江兼統は固辞し続け、会津征伐のきっかけともなる挑戦的な書状を徳川方に送りつける。世にいう「直江状」。後世の偽作という説もあるが定かでない。城建設は中断、戦いに備えるが徳川軍が栃木県まで来た時に関ヶ原の戦いが勃発。石田三成と親交があった上杉軍は西軍に与するが西軍が敗れると徳川方に下り米沢 30 万石に転封される。**会津統治はわずか 3 年。唯一上杉ゆかりの遺跡があるのは、完成していれば東北一の巨城となった「神指城二の丸土塁跡」のみ。**ドラマでは会津時代をどう描いてくれるかが今後の楽しみである。

会津は小京都と称され、旅番組やドラマなどにもよく登場するが時代劇では「白虎隊」「新撰組」「坂の上の雲」「バルトの楽園」などで鶴ヶ城・武家屋敷・滝沢本陣などの観光施設が使われた。皆さんは「フィルム・コミッション」を知っていますか。映画や TV ドラマや CM などのロケーション撮影を誘致し円滑にロケが行えるよう全ての雑務を引きうける NPO で都道府県や市町村の自治体や観光協会などが行っていて日本には 103 (2008 年)。撮影の誘致による地域活性化、文化・観光振興の効果が大きく、ロケの協力、各種許可申請代行、食事・宿泊の手配、エキストラ募集などは市民のボランティアによる。先日、NHK 番組「映画が町にやって来た」で話題の映画「おくりびと」撮影を支えた庄内地方の人々の奮闘記なるものを見て発奮。早速、「会津フィルム・コミッション」のエキストラのサポート会員に登録する。今後の活動は藩祖「保科正之」の大河ドラマ誘致とか。2 代将軍徳川秀忠のご落胤で 8 つ違いの弟を家光は重く用い、終生徳川に尽くすことを藩の家訓とした名君。近い将来、「農婦 1」でお茶の間デビューかも？

パソコン活用法

私の周囲には未だにパソコンは苦手という人が多い。“アラ還世代”(60 代前後)だ。私はというと、インターネットは百科事典、本の購入、お取り寄せ、脳トレゲームなどの利用でワードは新聞や年賀状作成程度。最近では上級技を求めパソコン教室に通うシニア世代が多く、趣味にパソコンを大いに利用しているとか。そこで私がメル友に伝授された楽しみ方を紹介したい。

- 「**パソコン電話**」パソコンの上に 2 千円程度のカメラを取り付けるだけ、無料で相手の顔を見ながら話ができる。我が家では毎日孫の写真が携帯で送られてくるので却下される。
- 「**Gao**」ユーセン(有線)が配信しているサイト。映画やドラマ・音楽などが楽しめ、私は洋画やカラオケを楽しんでいる。
- 「**クックパッド**」レシピ数では日本最大の料理献立サイト。素人自慢のレシピも投稿されるので、味は保証付きかも。
- 「**名曲サウンドライブラリー**」友人はクラシックを聴きながらゲーム(フリーセル)をするのが日課とか。
- 「**WaDa フォトギャラリー**」年内にアクセス 1 千万人突破するのではという人気サイト。国内外の旅や日本の裸祭りなど和田さん自身やお仲間の投稿など綺麗な写真と文章で綴られている。テーマにちなんだ音楽や俳句も楽しめ、メールにも和田さんは真摯に返信され、他人の文章を読んでも面白い。

ちょっといい話

塩月弥栄子は著書「女六十歳からの心ゆたかな生き方」の中で昭和の女性は「さ---裁縫 し---しつけ

す---炊事 せ---洗濯 そ---掃除」を信条に生活してきたが平成の時代に求められているのは「かきくけこ精神」だと。「か」感謝することに照れない。「き」緊張感を楽しむ。「く」くつろぐ。「け」決断力。「こ」好奇心持ち続けることが年齢不詳の素敵な女性であるための心構えだと言っている。
誰かの名言----現代女性に求められるものは「さ」爽やかに「し」仕事をこなす「す」素敵な「せ」生活に「そ」備える人。「あ」愛らしく「い」いつも色気をほのかに漂わせ「う」うれしうれしと「え」笑顔を決やさぬ「お」穏やかな人。